

日時 2016/2/14 (日) 9:30~12:00 (雨後曇り一時晴れ) 参加者 一般：0名、 指導員：3名

朝、家を出る時に雨が強く、これでは参加者は期待できないだろうと思いながら出かけました。案の定、138タワーパークの駐車場についた時、一般車のスペースには車が1台も止まっていませんでした。代わりに、駐車場の周りでツグミが数十羽、動き回っていました。周りを見ると、赤い実をつけた1本のクロガネモチの木に飛び込んだり、飛び出したりしています。実を食べているようですが、他にもっとたくさんの実をつけた木があるのに、なぜか、集まる木は特定の1本に集中しています。初めて出会った光景です。

さて、集合時間の9:30までには一般参加者はなかったものの、指導員2人が来てくれました。3人でクロガネモチの木の周りのツグミの行動を見てから、いつものコースを回りました。

堤防道路にあがってみると、昨夜からの雨で木曾川(南派川)が増水し、高水敷の芝生まで水が来ていました。こんな光景も初めて見ました。水のついていない芝生には、ツグミが200羽程群れていました。街中ではあまりツグミを見かけませんが、このような群で行動しているためでしょうか。

堤防を歩いていると、2回オオタカが飛び、高水敷の木にはノスリが止まっていて、じっくり姿を見せてくれました。

テーマが春の兆しということで、春先の花を観察しました。オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウなどが咲いていました。これらの花は、以前より早くから咲いているように感じられます。春の七草も探してみました。ナズナとハコベは花が見られ、ゴギョウ(ハハコグサ)、セリも葉を見つけることができ、農作物のスズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)を別にするとホトケノザ(コオニタビラコ)が見られなかっただけです。

138タワーパーク内では、エノキの下の落ち葉の裏で越冬しているゴマダラチョウの幼虫を見つけました。(前回、木曾川の高水敷で探しても見つからなかったものです。)

また、その近くのミカンの枝でナガサキアゲハの蛹を見ました。成虫はよく目立つナガサキアゲハですが、蛹は濃緑色で保護色となり、葉の間ではなかなか見つけにくいものです。

そのほか、サクラ類の冬芽なども観察しましたが、歩いていると汗をかくほど暖かく、春の近さを感じられました。(報告：齋竹)

<その他観察できたもの> 鳥：キジバト、セグロセキレイ、ヒバリ、ヒヨドリ、モズ、トビ、カラヒワ、シメ、イカル、ハシブトガラス、ダイサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ホオジロ、アオジ、シジュウカラ、エナガ、シロハラ、ムクドリ、メジロ、ウグイス(声)

昆虫：ナナホシテントウ、ヨコヅナサシガメ、ナミガタチビタマムシ



(高水敷の芝生まで水位が上がった木曾川・南派川)



(ゴマダラチョウの幼虫)



(ナガサキアゲハの蛹)